

みどりの女神が林木育種センター、森林バイオ研究センターを視察

令和2年10月8日

令和2年9月8日(火)、『20ミス日本みどりの女神 ^{いどがわ}井戸川 ^{ももか}百花さんが、ミス日本コンテスト事務局の和田代表とともに当センターを視察しました。

当日は、九州地方で猛威を振るった台風10号の影響により、天候の急変が心配されましたが、雨が降ることは無く、太陽が顔を出すと強い日差しが降り注ぐ、残暑厳しい中での視察となりました。



(写真2) 植栽後、8年経過したエリートツリー



(写真1) 左から和田代表、井戸川さん、上所長

まず、上所長と面会の後、当センターが誇る第二世代精英樹(エリートツリー)が生育している育種素材保存園に案内しました。5年前、初代女神が視察した際は、植栽後3年で樹高4m程だったエリートツリーが、植栽後8年で樹高約10mにまで成長した姿を見て、大変驚いた様子でした。

また、【業務体験】として、検定林調査で行っている樹高測定をしてもらいました。当センター職員が検測桿を伸ばしてエリートツリーの先端に合ったところで、職員に合図して高さを測る方法や、現在主流となっている樹高測定器(バーテックス)を使って実際に測定も行いました。

更に、最新の測定方法として、ドローンを使い、より短時間で正確に測定する技術開発についても紹介しました。



(写真3) バーテックスで測定

午後は、玄関ロビーにて当センターの業務概要の説明を各部長から行った後、シーケンス解析室に移動し、【研究体験】として研究職員と同じように白衣を身に纏い、DNA実験を体験してもらいました。初めての経験のはずですが、ピペットを持つ手が震えることもなく、試薬とDNAを実験用のプレートにスムーズに正確に移す作業をされ、その器用さと丁寧な作業に感心しました。



(写真4) 真剣に器具を操る井戸川さん

最後に、各施設等（原種園、順化温室、苗テラス、熱帯温室、組換え実験棟、林木遺伝資源保存棟）を視察し、大変興味深く、職員の説明に耳を傾けていました。



(写真5) 苗テラスで成長試験中の苗木



(写真6) 保存されている種子

短時間ではありましたが、当センターの業務内容を紹介できたことで、今後の「みどりの女神」としての活動の一助になれば大変光栄です。



(写真7) 笑顔の素敵な井戸川さん

ー女神からのメッセージー

長年にわたる研究は、現場を助けるために行われているということに、業界内の絆を感じ、また、より良い品種を作りあげることが、日本の森を作っていることを実感しました。

(育種企画課)